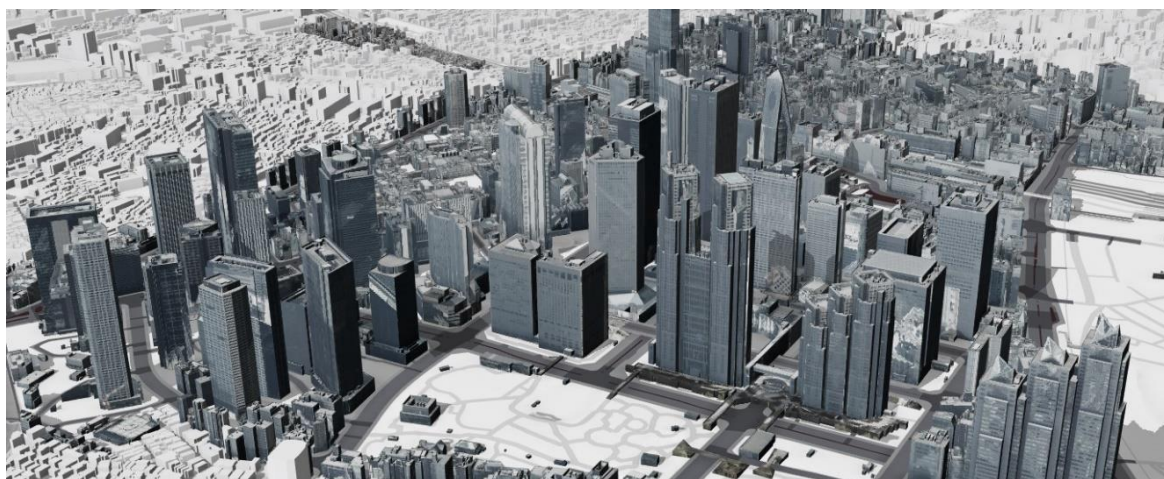


令和 7 年 4 月 25 日
都市局国際・デジタル政策課

Project PLATEAU 2025 年度の取組みを発表

～ 3D 都市モデルの社会実装を加速します～

国土交通省が様々なプレイヤーと連携して推進する Project PLATEAU は、プロジェクト開始から 6 年目を迎え、3D 都市モデルの整備範囲は全国約 250 都市に拡大するとともに、官民の多様な領域でユースケースが開発され、その社会実装が進んでいます。2025 年度は Project PLATEAU の取組みを通じ、本格的な社会実装を加速します。



Project PLATEAU 2025 年度の取組み方針

Project PLATEAU は 2025 年度も引き続き、地方公共団体、民間事業者、地域コミュニティ等の多様なプレイヤーによる取組みを後押しし、3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の自律的な発展を目指して、更なる取組みの深化を図っていきます。

具体的には、データカバレッジの拡大、ユースケースの開発・社会実装、3D 都市モデルの活用コミュニティの形成、オープン・イノベーション創出、3D 都市モデルの整備・活用に係るエコシステムの構築等のテーマのもとに、27 件のプロジェクトを採択しました。地方公共団体は 52 事業・約 80 都市が参画し、データ整備範囲は約 300 都市に拡大する予定です。詳細は参考資料をご覧ください。

PLATEAU 全国会議の開催

2025 年 6 月 2 日に、地方公共団体での PLATEAU データ整備・活用事例、民間コミュニティ発のオープン・イノベーション事例を紹介する講演会を開催します。地域課題の解決方法をお探しの方、PLATEAU を使った新たな着想・ヒントを得たい方、関係者のネットワークを広げたい方など、ご関心のある方はぜひご参加ください。（イベントページ：<https://ascii20250602.peatix.com>）

<問い合わせ先>

都市局 国際・デジタル政策課 十川、細萱、関根
電話 代表：03-5253-8111(内線 32237、32238)
直通：03-5253-8422



<Project "PLATEAU">

ウェブサイト：www.mlit.go.jp/plateau/

補助ポータル：

www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau_hojo.html

X：@ProjectPlateau

Project Goal

都市デジタルツインにより
社会に新たな価値をもたらす / 地域の課題を解決する

Project PLATEAUは、デジタル技術により「豊かな生活、多様な暮らし方・働き方を支える「人間中心のまちづくり」の実現をめざす「まちづくりDX」のデジタル・インフラとしての役割を果たすことを目指し、我が国初の都市デジタルツインの実装モデル「3D都市モデル」の整備・活用・オープンデータ化に取り組んできました。

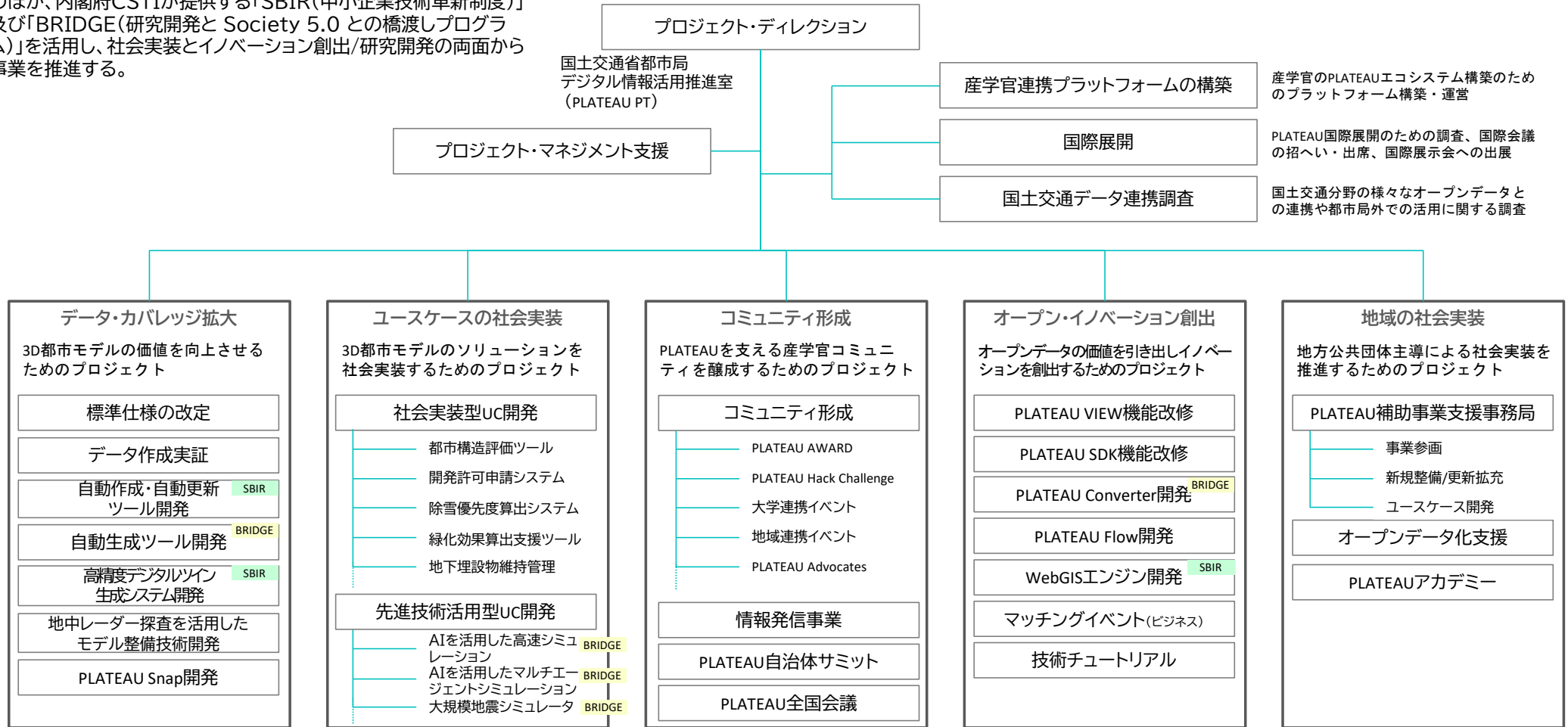
プロジェクト開始から6年目を迎えるPLATEAUは、昨年度「都市デジタルツインのポテンシャルを引き出す」ための実証/PoCフェーズから「都市デジタルツインにより社会に新たな価値をもたらす / 地域の課題を解決する」ための実装フェーズへと移行したところであり、今年度、本格的な社会実装をより一層推進してまいります。

1. FY2025 プロジェクトの概要
2. PLATEAUビジョン
3. FY2024 プロジェクトの成果概要



FY2025プロジェクトの方針・概要 | プロジェクト推進体制

FY2025のProject PLATEAUでは、国土交通省都市局の事業のほか、内閣府CSTIが提供する「SBIR(中小企業技術革新制度)」及び「BRIDGE(研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム)」を活用し、社会実装とイノベーション創出/研究開発の両面から事業を推進する。



※主なプロジェクトを抜粋。発注単位と必ずしも一致しない。検討中のものを含む。

ユースケースリスト（全7件／R7.4現在）

ユースケース開発の経過や結果はウェブサイト上で随時レポートしていきます。

[➡ https://www.mlit.go.jp/plateau/](https://www.mlit.go.jp/plateau/)

カテゴリー	ユースケーステーマ	事業者名
防災	豪雪地帯の建築物における除雪優先度算出システム及び被災現場支援ツールの開発	株式会社雪研スノーイーターズ
	火災延焼シミュレーションシステムの開発	国際航業株式会社
都市開発・まちづくり	大規模イベントの輸送計画策定に向けた人流シミュレータの開発	株式会社フォーラムエイト
	都市構造評価ツールの社会実装	一般財団法人計量計画研究所/株式会社福山コンサルタント/朝日航洋株式会社
	樹木データを活用した温熱環境シミュレータの開発	東日本電信電話株式会社/Pacific Spatial Solutions株式会社
	開発許可DXシステムの社会実装モデルの開発	株式会社三菱総合研究所/アジア航測株式会社
行政・インフラ管理	地下埋設物モデルを活用した都市開発実証	エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社/株式会社日建設計/株式会社日建設計総合研究所/日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社

Project PLATEAU FY2025 プロジェクトの概要



地方公共団体のプロジェクト（全52事業・約80都市）

カテゴリー	自治体名	主な活用目的・活用事業（計画）
防災・防犯	青森県鰺ヶ沢町※	災害リスクの可視化への3D都市モデル活用事業
	岩手県宮古市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	福島県福島市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化
	埼玉県	3Dハザードマップの作成と公開
	埼玉県熊谷市	3D都市モデルを活用した災害リスク可視化事業
	埼玉県荒川北縁水防事務組合※	3D都市モデルを活用した災害リスク可視化事業
	東京都	デジタルツインを活用した水害シミュレーション
	東京都台東区	3D都市モデルを活用した避難シミュレーション事業
	東京都杉並区	3D都市モデルを活用したポケットパーク整備のVR体験・延焼シミュレーションの3次元可視化
	神奈川県藤沢市	3D都市モデルを活用した火災延焼シミュレーションの実施と可視化事業
	神奈川県厚木市	3D都市モデルを活用した復興まちづくり訓練
	新潟県新発田市※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	富山県舟橋村※	水害時の垂直避難可能建物の抽出
	岐阜県岐阜市	3D都市モデルを活用した緊急輸送道路沿道建築物調査事業
	岐阜県大垣市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	京都府舞鶴市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	京都府与謝野町※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	大阪府東大阪市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	奈良県三郷町※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	和歌山県すさみ町	災害リスク可視化事業
	徳島県美波町※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業
	愛媛県宇和島市	3D都市モデルを活用した津波災害リスクの可視化事業
	高知県	3D都市モデルを活用した津波災害リスクの時系列可視化事業
	佐賀県鳥栖市	3D都市モデルを活用した災害リスク（内水ハザード可視化事業）
地域活性化・観光コンテンツ	埼玉県さいたま市	3D都市モデル×マイクラフトによる市民参画促進

カテゴリー	自治体名	主な活用目的・活用事業（計画）
都市計画・まちづくり	宮城県仙台市	3D都市モデルを活用した青葉通エリアのウォークアブル事業の機運醸成事業
	栃木県宇都宮市	VRを活用したライトライン駅西側延伸等への市民理解促進業務
	東京都中央区	3D都市モデルを活用したにぎわい創出方策の検討・可視化
	東京都北区	3D都市モデルを活用した人流可視化事業
	東京都練馬区	3Dモデルを活用したまちなみ整備等の可視化事業
	長野県飯山市	3D都市モデルを活用した都市構造の可視化事業
	長野県安曇野市	3D都市モデルを活用した道路交通課題の可視化事業
	静岡県静岡市	都市政策見える化プロジェクト
	愛知県春日井市	VR技術を活用した公園施設の配置計画
	京都府京都市	景観シミュレーションの実施
	大阪府大阪市	3D都市モデルを活用した都市計画基礎調査情報等の可視化事業
	大阪府河内長野市	3D都市モデルを活用した住民参加型のまちづくりの実施事業
	大阪府池田市	3D都市モデルを活用した駅前再整備ビジョンの可視化事業
	島根県松江市	3D都市モデルを活用した景観基準確認システム構築事業
	岡山県津山市※	津山城跡（鶴山公園）周辺の景観まちづくり事業
	広島県海田町	3D都市モデルを活用したまちづくり都市計画立案への活用事業
	高知県のい町	3D都市モデルを活用した駅前周辺整備事業
	福岡県古賀市	3D都市モデルを活用した住民参加型まちづくり事業
	福岡県うきは市	3D都市モデルを活用した景観保存・整備事業への活用事業
その他	熊本県宇城市※	3D都市モデルを活用したまちづくり(交通)事業の検討
	茨城県つくば市	3D都市モデルを活用したこどもMaaSサービス
	千葉県多古町※	成田空港の機能強化に伴うデジタルアーカイブ事業
	静岡県	3D都市モデルを活用した施設管理の可視化事業
	滋賀県近江八幡市※	3D都市モデルを活用した開発許可の可視化事業
	大阪府堺市	3D都市モデルを活用した地盤変位の可視化
	岡山県岡山市	3D都市モデルを活用した緑化施策の実施・評価の効率化事業
	熊本県玉名市	3D点群インフラ管理システム構築事業

※早期実装タイプとして採択

Project PLATEAU FY2025



産学官連携の更なる促進のため、コンソーシアムと自治体アドバイザリーボードを年2回開催

- ✓ 今年度のアドバイザリーボードについて、コンソーシアムとは独立した議論の場を設定し、自治体が抱える課題の討議に焦点を絞った「PLATEAU自治体アドバイザリーボード」を年2回開催。
- ✓ PLATEAUコンソーシアムは従来通り産学官連携促進を目指すフラットな討議の場として年2回開催。（議題も従来通り事業進捗や各WGの活動、最新の技術動向等に関する情報共有を予定。）

PLATEAU 自治体アドバイザリーボード

目的

自治体が必要とするソリューション(防災(浸水等)、まちづくり、開発許可等のDX)の汎用化や横展開に焦点を充て、集中的な議論を行う場に発展させることで、自治体における3D都市モデルのさらなる活用・浸透を図る

参加者

地方公共団体/民間企業/大学・研究機関/関係省庁

開催

年2回開催予定(6月・10月)

PLATEAU コンソーシアム

目的

- ・ 幅広い事業者・団体から会員を募り、産学官の技術開発やユースケース開発の成果報告などの情報共有やコミュニケーションを支援ユーザー(事業会社や自治体)のニーズとソリューションカンパニー(ベンダーやコンサル)や大学・研究機関のシーズのマッチングを促進
- ・ プロジェクト活動によって生まれた成果物(データ・OSS等)の共有、発信、相互活用の促進
- ・ 技術開発やユースケース開発、データ利用環境整備等の今後の取組の方向性についての討議

参加者

地方公共団体/民間企業/大学・研究機関/関係省庁

開催

年2回開催予定(9月・3月)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
自治体アドバイザリーボード			第1回				第2回					
コンソーシアム						第1回						第2回

PLATEAU 全国会議の開催(6/2(月)13～18時@御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター)



国土交通省がさまざまなプレイヤーと連携して推進する、日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクト「Project PLATEAU(プラトール)」では、これまでに生み出してきた「実際に役立つ」サービスを社会に実装すべく、「実証から実装へ」とフェーズを移行し、新たな取り組みを展開していきます。

その一環として、本年6月に、地方公共団体でのPLATEAUデータ整備・活用事例、民間コミュニティ発のオープンイノベーション事例を紹介する講演会を開催します(Teamsを活用したハイブリッド開催)。併せて、登壇者・参加者同士の交流の機会として、ネットワーキングイベントを開催します。

地域課題の解決方法をお探しの方、PLATEAUを使った新たな着想・ヒントを得たい方、関係者のネットワークを拡げたい方など、ご関心のある方はぜひご参加ください

お申し込みは以下のイベントページからのお申込み、
もしくは事務局メールアドレス宛に必要情報を記載のうえご連絡ください。
イベントページ：<https://ascii20250602.peatix.com>
メールアドレス：plateau-ascii@lab-kadokawa.com
※必要情報件名「PLATEAU全国会議」、
本文に参加予定の方の「お名前、ご所属、オンライン参加orリアル参加」をご記入ください

PLATEAU全国会議タイムテーブル(※内容詳細・登壇者は調整中)

- 13:00 開会・主催挨拶
- 13:10 自治体アドバイザリーボード(第1回)
- 14:30 自治体取組紹介(都市計画のデジタル化、防災DX)(自治体が登壇予定)
- 15:45 休憩
- 16:00 PLATEAUの活用事例紹介(AWARD受賞者、民間事業者、関係団体が登壇予定)
- 16:30 Project PLATEAUの最新の取組紹介(民間事業者、関係団体が登壇予定)
- 16:55 閉会
- 17:00 ネットワーキング(~18:00)

PLATEAU を活用した民間サービス実装の支援を開始

- 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するProject PLATEAUでは、民間領域においても社会課題の解決に資する3D都市モデルを活用したサービス実装が進み、上質で利便性の高い都市サービスが広く国民へ浸透する「まちづくりDX」が実現されることを目指し、都市空間情報デジタル基盤構築支援事業において「民間サービス実装タイプ」の支援を今年度から開始しました。

令和7年度採択事例

団体名	活用事業(計画)
株式会社福山コンサルタント東京支社	雨庭等の雨水貯留効果の設置・整備効果の可視化
株式会社フォーラムエイト	3D都市モデルを活用した運送事業者の訓練用ドライブシミュレータ
株式会社モンドリアン	3D都市モデル×Fortniteのメタバース産業創出による地域経済活性化
株式会社くわや	建築計画ボリューム可視化事業
JR東日本コンサルタンツ株式会社	3D都市モデルを活用した東京ステーションナビのサービス拡充
株式会社エンタケア研究所	Care-viewer(データを活用した介護福祉課題の定量・定性での見える化)
株式会社Penetrator	人工衛星データを用いた大規模震災地域の早期被害規模推定AIの開発と可視化

株式会社くわや

■ユースケース実装状況・成果物活用状況(イメージ図)



容積率と建築計画ボリューム可視化による土地有効利用の活性化
地図上で任意に指定する土地形状での計画可能ボリューム自動出力機能、高層建物の日影規制を考慮した計画可能ボリューム自動出力機能、簡易な形状の建物外形平面、階数、述べ面積等の自動出力機能等を有するシステムを開発

JR東日本コンサルタンツ株式会社

■ユースケース実装状況・成果物活用状況(イメージ図)



3D都市モデルを活用した東京ステーションナビのサービス拡充
3D都市モデルを活用し、新宿駅及び池袋駅周辺エリアを対象に、ホーム～コンコース～改札～出口～周辺施設をつなぐ、車椅子利用者向けバリアフリーナビゲーション機能を、東京ステーションナビに追加（地下街のナビゲーションも実施）

補助対象及び補助要件

補助対象事業

- (1) 3D都市モデルの整備に関する事業
- (2) 3D都市モデルの活用に関する事業
- (3) 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進事業

補助対象団体

営利法人、NPO法人、一般社団法人、一般財団法人その他これらに類する者
(上記の者を構成員とするJVを含む。)

補助率 1/2 (上限5,000万円)

補助要件

- (1) ユースケースがあること ※3D都市モデルの整備も行う場合は、単年度で3D都市モデルの整備とユースケース開発を行うこと
- (2) 国が定める標準仕様書及び標準作業手順書に基づく国際標準規格であるCityGML形式でデータ作成すること
- (3) 整備した3D都市モデルをG空間情報センター等にてオープンデータ化すること
- (4) 整備した3D都市モデルを維持管理・更新すること
- (5) 原則として、事業年度中に3D都市モデルが活用され、サービス提供等がなされること

PLATEAU RFI(情報提供依頼)は、PLATEAUのプロジェクト価値を高めていくための産学官連携施策の一つです。

- 国土交通省都市局が様々な主体と連携して進めるProject PLATEAUでは、都市デジタルツインの実装モデル「3D都市モデル」の整備・活用・オープンデータ化を推進していくため、幅広い産学官のプレイヤーとの連携を重視しています。
- 都市デジタルツインは新しい技術であり、これを社会実装していくためには、どのような施策や技術開発、スキーム構築などが必要なのか、幅広いプレイヤーとの議論していくことが重要です。
- そこで、Project PLATEAUでは、RFI(情報提供依頼)として、次年度以降のプロジェクト採択に向けたアイデアや提案を募集します。
- RFI#1では、FY2026のテーマに応じた基本的なアイディエーションを行うことを狙った「提案募集型」RFIを行います。RFI#2ではこれを基にして作成したプロジェクト原案に対する技術提案を募集する「意見募集型」RFIを行っていく予定です。ぜひご参加ください。



スケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2026年度に向けた動き			RFI #1	ヒアリング			RFI #2	ヒアリング	公示手続等			
			※2026年度に向けた企画提案の情報提供依頼				※RFIをもとに具体的な技術提案の情報提供依頼	※企画競争提案の説明会及びRFIをもとにしたヒアリング等	※2026年度企画競争提案に関する手続き等			

※今後変更される可能性があります。

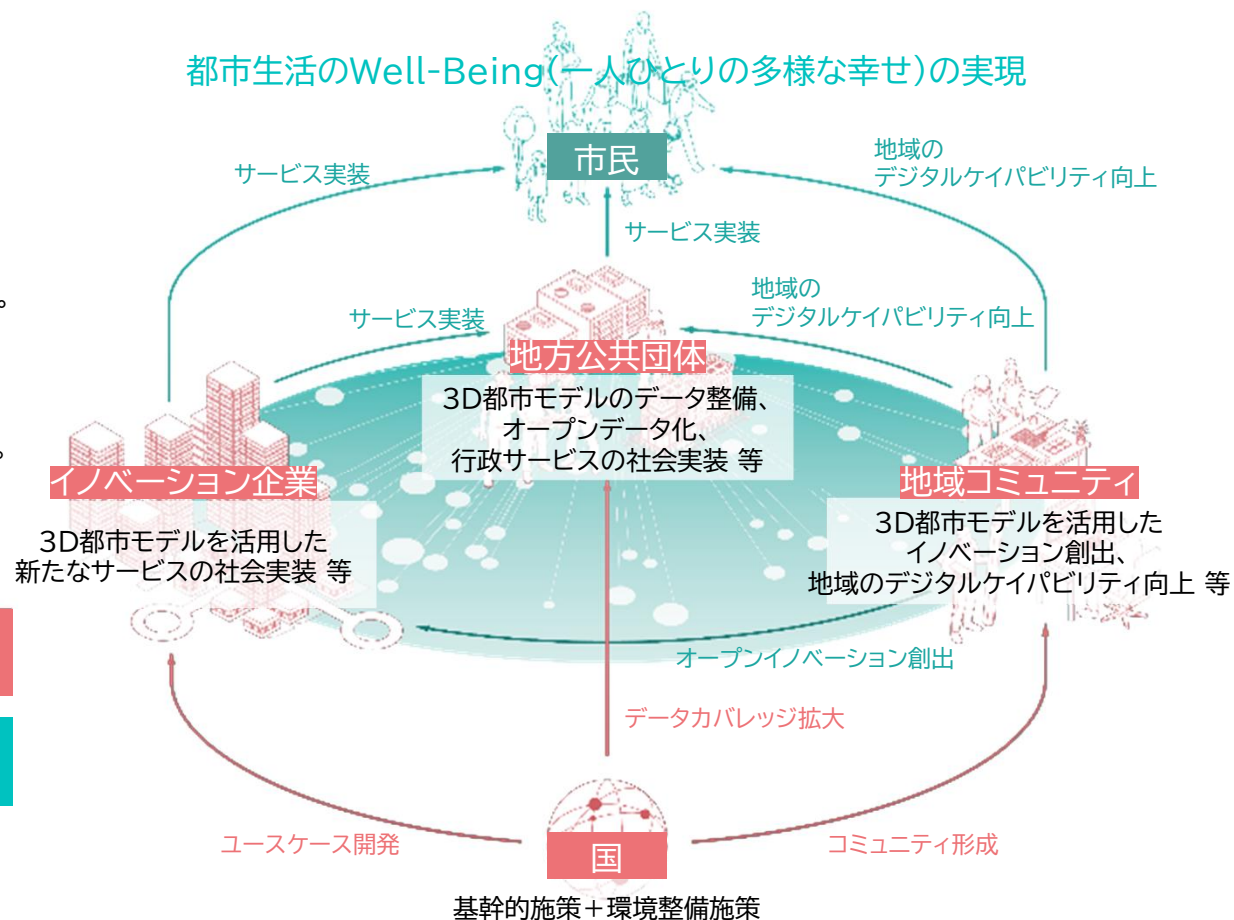
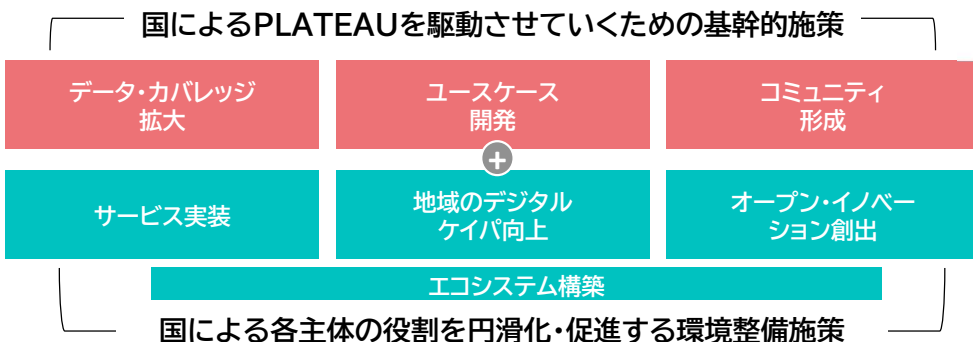
1. FY2025 プロジェクトの概要
2. PLATEAUビジョン
3. FY2024 プロジェクトの成果概要



PLATEAU VISION | PLATEAUの目指すエコシステム

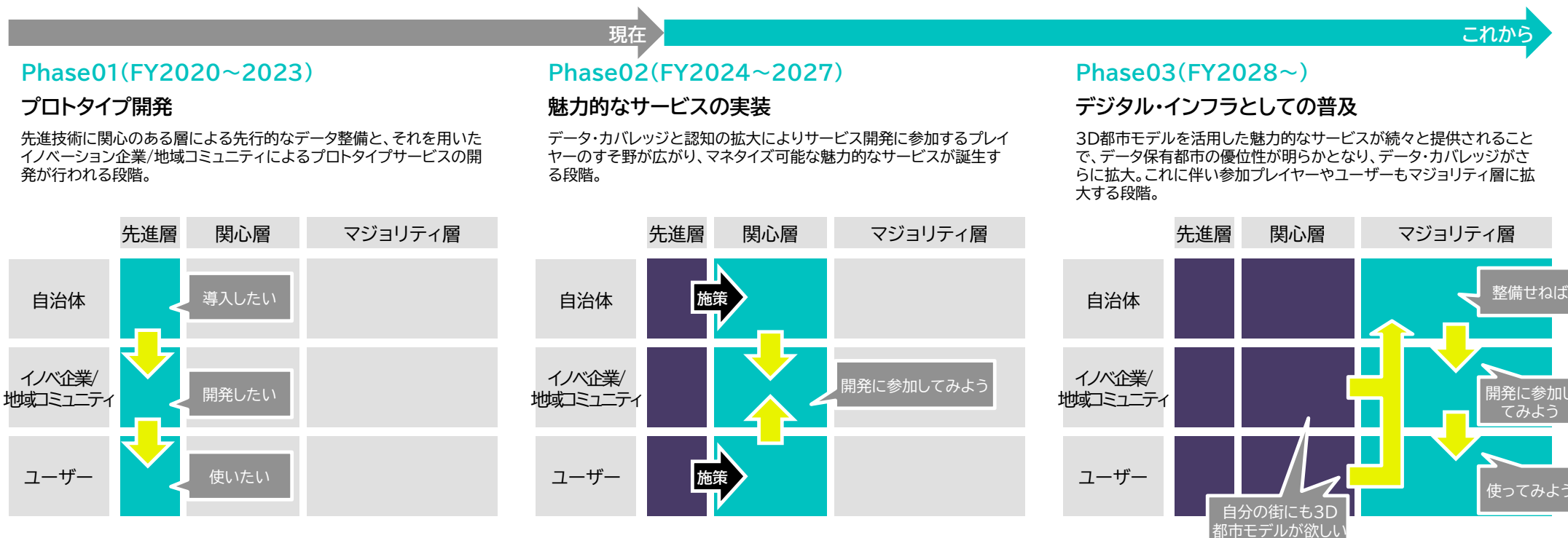
3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化が自律的に発展していく「エコシステム」の構築を目指します。

- 3D都市モデルを活用した魅力的なサービスを開発し、これを社会に実装していくことで、都市生活のWell-Being(一人ひとりの多様な幸せ)を実現していくことが重要。
- そのためには、国のみがイニシアティブをもった取り組みでは不十分。産学官のプレイヤーがそれぞれイニシアティブを持ち、持続可能な形で3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化にコミットしていく必要がある。
- このため、国、地方公共団体、企業、大学等の研究機関、地域コミュニティなどのプレイヤーそれぞれの役割を明確化し、持続的に役割を果たしていく体制構築が必要。
- 次期PLATEAUでは、Phase02として、産学官が連携してPLATEAUを推進していく新たな体制=PLATEAUエコシステムの構築を目指していく。
- 国は、Phase01で実施してきた基幹的施策を継続・拡充しつつ、各主体がイニシアティブを持ちそれぞれの役割を果たしていけるよう、環境整備施策を推進していく。



PLATEAU VISION | ゴール達成に向けたステップ

- Project PLATEAUでは、2020年度のスタート以降、「プロトタイプ開発」フェーズとして、先進技術に関心の高い産官学の様々なプレイヤーと連携して3D都市モデルのポテンシャルを検証。多様な分野で3D都市モデルの価値を実証してきた。
- 2024年度以降は、Phase01の成果を活用し、次のフェーズとして「魅力的なサービスの実装」段階へと本格的に移行。PLATEAUへの参加プレイヤーを先進層から関心層へ拡大させるための施策を産学官連携して講じていく。
- Phase02の取組みにより魅力的なサービスが実装されていくことで、本格的な普及フェーズであるPhase03への移行を目指していく。



1. FY2025 プロジェクトの概要
2. PLATEAUビジョン
3. FY2024 プロジェクトの成果概要



約30,000km²
※累計/LOD1

総整備面積



約2,300万棟
※累計/LOD1

総整備建物棟数

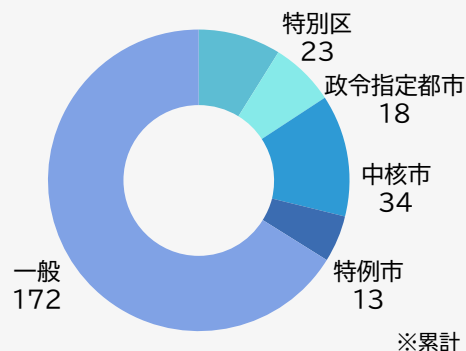


5割以上
※51.4%
※累計

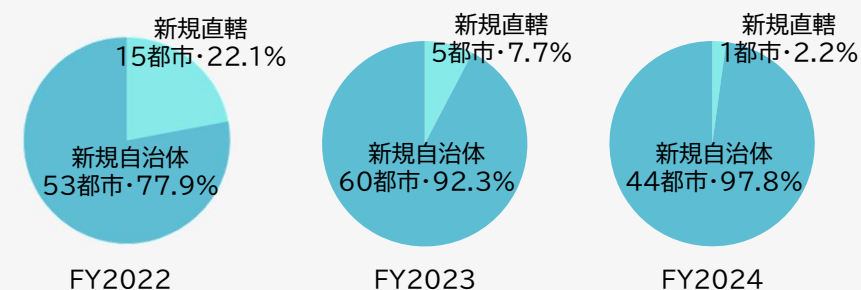
整備範囲の人口カバー率



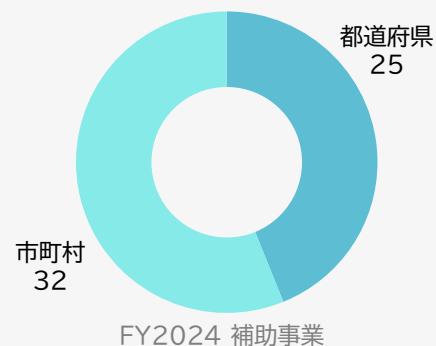
地方公共団体区分



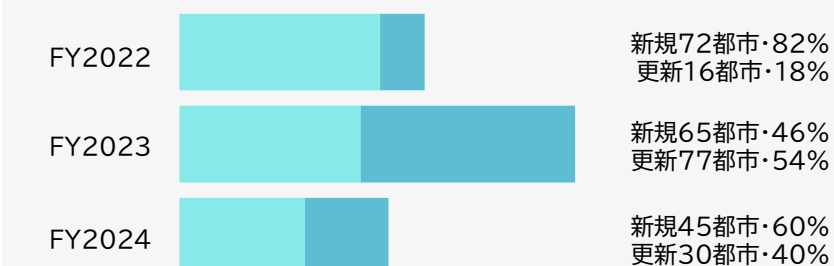
新規整備主体



都道府県/市町村の別



新規/更新割合



※FY2023より東京23区は区ごとに1都市としてカウント

FY2024の振り返り | 成果サマリー | データ・カバレッジの拡大



FY2024末時点 整備都市一覧(約250都市) ※東京23区は特別区として1都市カウント

北海道	春日部市	調布市	厚木市	岐阜県	静岡県	兵庫県	徳島県	熊本県
札幌市	越谷市	町田市	箱根町	岐阜市	吉田町	姫路市	徳島市	熊本市
室蘭市	藤市	小金井市	新潟県	大垣市	川根本町	加古川市	香川県	荒尾市
更別村	戸田市	小平市	新潟市	美濃加茂市	森町	三木市	高松市	玉名市
青森県	志木市	日野市	長岡市			朝来市	さぬき市	益城市
むつ市	新座市	東村山市	加茂市	静岡県	愛知県	たつの市	愛媛県	大分県
岩手県	久喜市	国分寺市	上越市	静岡市	名古屋市	奈良県	松山市	日田市
盛岡市	八潮市	国立市	富山県	浜松市	岡崎市	奈良市	東温市	臼杵市
宮古市	富士見市	福生市	高岡市	沼津市	豊橋市			
宮城県	三郷市	狛江市	氷見市 ※	熱海市	春日井市	和歌山県	高知県	宮崎県
仙台市	蓮田市	東大和市	射水市 ※	三島市	豊川市	和歌山市	高知市	延岡市
秋田県	古川市	清瀬市	石川県	富士宮市	津島市	田辺市	いの町	鹿児島県
大館市	幸手市	東久留米市	金沢市	島田市	豊田市	すさみ町	福岡県	南さつま市
福島県	鶴ヶ島市	武蔵村山市	七尾市 ※	富士市	安城市	太地町	北九州市	沖縄県
福島市	伊奈町	多摩市	輪島市 ※	磐田市	日進市	鳥取県	福岡市	那覇市
郡山市	白岡市	稲城市	珠洲市 ※	焼津市		鳥取市	大牟田市	
いわき市	三芳町	羽村市	加賀市	掛川市	三重県	米子市	久留米市	
白河市	毛呂山町	あきる野市	羽咋市 ※	藤枝市	四日市市	境港市	飯塚市	
相馬市	上里町	西東京市	かほく市 ※	御殿場市	伊勢市	日古津村	宗像市	
南相馬市	宮代町	瑞穂町	津幡町 ※	袋井市	熊野市	島根県	古賀市	
茨城県	杉戸町	日の出町	内灘町 ※	裾野市	滋賀県	益田市	うきは市	
つくば市	松伏町	檜原村	志賀町 ※	湖西市	長浜市	隠岐の島町	筑前町	
鉾田市	千葉県	奥多摩町	宝達志水町 ※	伊豆市	京都府			
境町	千葉市	大島町	中能登町 ※	御前崎市	京都市	岡山県	佐賀県	
栃木県	木更津市	利島村	穴水町 ※	菊川市	大阪府	倉敷市	鳥栖市	
宇都宮市	茂原市	新島村	能登町 ※	伊豆の国市	堺市	備前市	武雄市	
群馬県	柏市	神津島村	山梨県	牧之原市	岸和田市	早島町	小城市	
前橋市	八千代市	三宅村	甲府市	東伊豆町	豊中市	広島県	大町町	
桐生市	東京都	御蔵島村	長野県	河津町	池田市	広島市	江北町	
館林市	特別区(23区)	八丈町	松本市	南伊豆町	高槻市	呉市	白石町	
埼玉県	八王子市	青ヶ島村	岡谷市	松崎町	河内長野市	福山市		
さいたま市	立川市	神奈川県	諏訪市	西伊豆町	和泉市	府中市	長崎県	
熊谷市	武蔵野市	横浜市	伊那市	函南町	柏原市	三次市	佐世保市	
川口市	三鷹市	川崎市	茅野市	清水町	摂津市	海田町	松浦市	
所沢市	青梅市	相模原市	佐久市	長泉町	東大阪市	山口県	波佐見町	
鴻巣市	府中市	横須賀市	安曇野市	小山町	忠岡町	周南市		
加須市	昭島市	鎌倉市						

■赤太字は、R6年度新規整備都市
■※付きの地方公共団体はサンプルデータ

FY2024の振り返り/ ユースケースリスト（全16件）

カテゴリー	ユースケーステーマ	事業者名
防災	都市再生安全確保計画等の策定支援のための避難シミュレータの社会実装モデルの開発	東日本旅客鉄道株式会社/KDDI株式会社/KDDIアジャイル開発センター株式会社/株式会社JR東日本建築設計
	汎用的な人流シミュレーションシステムの社会実装	株式会社フォーラムエイト
	地区防災計画作成支援ツールの開発	株式会社福山コンサルタント/株式会社ユーカリヤ
都市開発・まちづくり	商業施設等の立地に関する交通シミュレータの開発	一般財団法人計量計画研究所/株式会社シナスタジア /株式会社アイ・トランスポート・ラボ
	タンジブルインターフェースを活用した住民参加型まちづくりツールの社会実装	インフォラウンジ株式会社/サイバネットシステム株式会社/株式会社山手総合計画研究所
	XR技術を活用した住民参加型まちづくりツールの社会実装	株式会社ホロラボ/株式会社日建設計/株式会社日建設計総合研究所
	開発許可DXシステムの社会実装モデルの開発	アジア航測株式会社
	景観まちづくりDX v2.0	株式会社シナスタジア
環境・エネルギー	太陽光発電ポテンシャル推計システムの社会実装モデルの開発	アジア航測株式会社
地域活性化	XRコンテンツ開発プラットフォームの社会実装	株式会社STYLY
	BIMモデルと連携した地下街ナビゲーションシステムの開発	JR東日本コンサルタンツ株式会社
モビリティ	BIMモデルと連携したモビリティ自律運航システムの開発	株式会社竹中工務店/株式会社センシンロボティクス/アダワープジャパン株式会社
行政・インフラ管理	高精度観光動態分析システムの社会実装	株式会社ゼンリン/株式会社ブログウォッチャー
	都市構造評価ツールの社会実装	一般財団法人計量計画研究所/株式会社福山コンサルタント/株式会社ユーカリヤ
	BIMモデル及び地下埋設物モデルを活用した都市開発支援システムの開発	エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社/株式会社日建設計/株式会社日建設計総合研究所/日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
	公園管理DXシステムの社会実装	国際航業株式会社/Pacific Spatial Solutions 株式会社



P L A T E A U
by MLIT